

# 太田川河川敷に3連 2分割ボックスカルバート

平成26年10月30日

広島市内を流れる太田川放水路の河川敷に、緊急輸送および避難路として8m幅の道路を新設しています。その河川敷に堤防樋門からの放流水路や、支川合流部などは橋梁やボックスカルバートを使用して横断させています。

この横断部の1箇所が、角度がついて支川が合流しており、ボックスカルバートも斜角を考慮したものにする必要がありました。また、内空高が幅に比べて極端に低いカルバートのため、3連続で計画されていました。この条件をクリアするためには、NETIS登録をしているベベルカルバートを用いる、かつ3連構造とすることで可能でした。ベベルカルバートは上下2分割構造としているため、連結部にモルタル充填式スリーブ継手を採用しています。これを側壁の内側・外側の鉄筋を連結するのに使用しているので、外側も内側でモルタルを充填するよう工夫する必要がありました。

年度末に無事、工事も完了しました。

今後も現地の条件に適した製品をご提案できたらと考えています。

呼び・規格	ベベルカルバート 5500×1600
施工場所	広島県広島市内
工事名	太田川放水路河川敷緊急道路函渠外第2工事
工事年度/期間	平成26年1月～3月
施主/発注者	国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所
規模(面積、延長)	8m × 3連

営業部開発営業課 : 岡 正臣



河川敷の緊急道路として、3連のボックスカルバート



現場の全景



上部材の据付状況



2分割ボックスが3つ横並びです